

思川開発事業監理協議会・幹事会資料

平成26年 3月19日

独立行政法人 水資源機構

目 次

1. 平成25年度事業実施概要	1
2. 平成25年度事業実施概要図	2
3. 現地状況写真	3
4. 進捗状況	8
5. コスト管理	9
6. 平成26年度予算	12

1. 平成25年度事業実施概要

○ 平成25年度予算額

- ・ 約14.7億円（累計 約833億円[※] 約45%） ※累計額は、平成24年度までは精算額、平成25年度は予算額

○ 事業概要

- ・ 付替県道工事、水理調査及び環境調査等を実施した。

○ 主な進捗状況（平成25年2月末現在） ※【 】は全体数量

- ・ 用地取得 【 375ha】 累計約369ha、約98%の進捗
- ・ 付替県道 【 6.4km】 トンネル設備、橋梁工事等を実施。累計約4.2km、約66%の進捗
- ・ 県道改良 【13.2km】 累計約13.1kmとなり、約99%の進捗（約12.1km供用済）

○ コスト増減

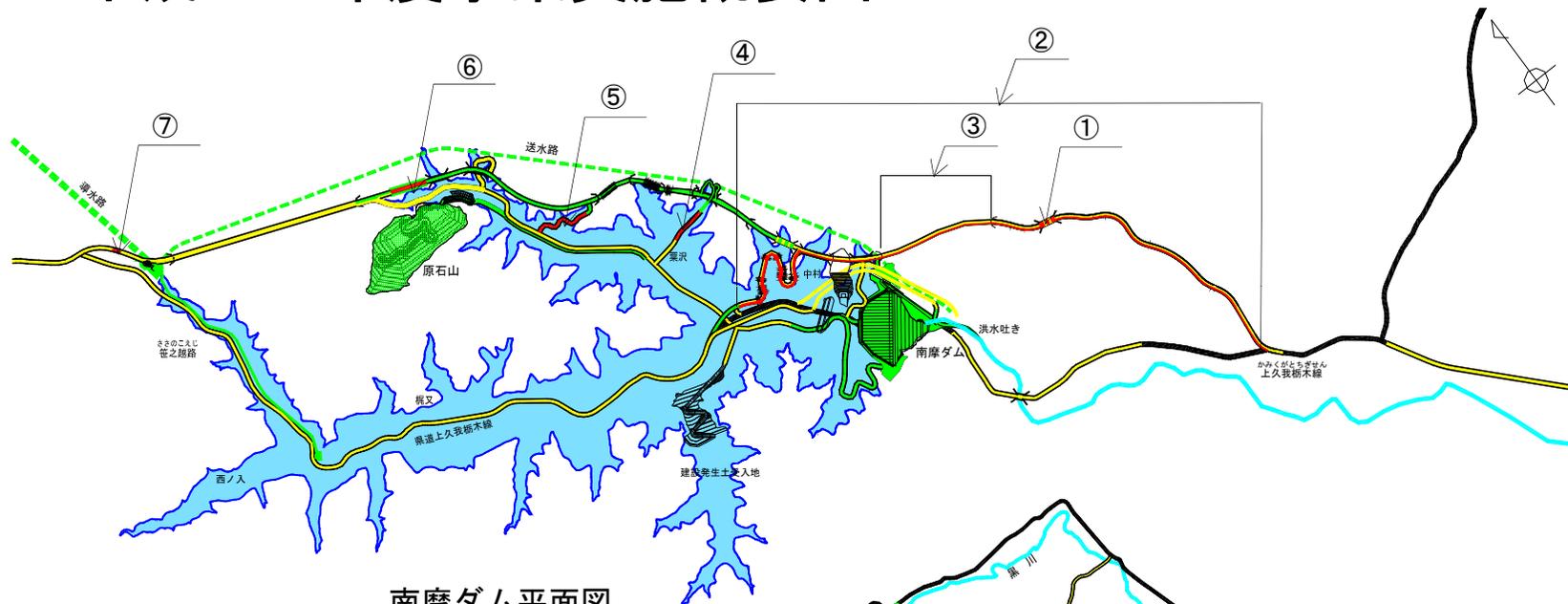
- ・ 平成25年度の事業執行において、付替県道の道路構造の見直し等、計画・設計段階の見直しによる縮減を図った。（約 3百万円減）
- ・ 平成25年度の事業執行において、翌年度にまたがる工事費・測量設計費の消費税率引き上げに伴うコストが増加した。（約 47百万円増）

※コスト増減額は現時点での見込額であり、今後変更がありうる

○ その他

- ・ 平成25年12月8日に水道再評価委員会を開催し、「引き続き事業を実施することが適切である」との審議結果を厚生労働省へ報告した。

2. 平成25年度事業実施概要図



南摩ダム平面図

凡 例	
	平成24年度まで
	平成25年度



導水路平面図

※ ○数字は写真位置

3. 現地状況写真

① 付替県道7号橋上部工工事（完成）

H25.01



H25.07



② 付替県道杓子沢工区他整備工事

H25.09 6工区上流側



H26.02 ブロック積施工状況



③ 付替県道4号トンネル非常用設備工事

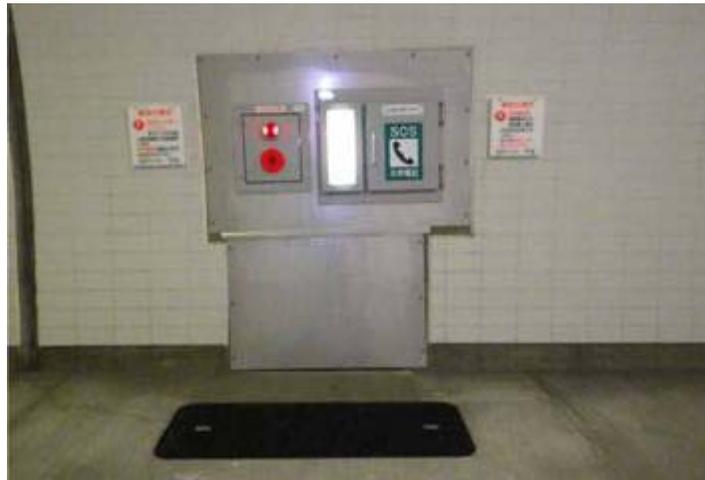
H25.05



イメージ 警報表示板



イメージ 非常電話機、押ボタン式通報装置（トンネル内）



④ 栗沢進入路下流工区その2工事 (完成)

H25. 08



H25. 12



⑤ 栗沢進入路中流工区工事

H25. 07



H26. 01



⑥ 付替県道粟沢7工区工事

H25. 11



H26. 01 掘削状況



⑦ 付替県道笹之越路工区その2 他工事

H25. 08



H26. 01盛土状況



⑧ 板荷引田トンネル本体建設工事

H25.08 引田側



H26.02 道路工施工状況



H24.09 板荷側



4. 進捗状況（平成26年2月末現在）

補償基準他	H13.12 損失補償基準に関する協定書調印				
用地取得(南摩ダム) (375ha)	98% (369ha)				
用地取得(導水路) (3.159ha) 区分地上権設定含む	100% (3.159ha)				
家屋移転 (80世帯)	100% (80世帯)				
代替地造成	100% (31世帯)				
付替県道(約6.4km)	63%		66% (4.2km)		
県道改良(約13.2km)	92%			99% (13.1km)	
ダム本体及び関連工事	仮排水路トンネル (H23.3完成)	基礎掘削	ダム本体工	管理設備	試験湛水
導水路、送水路 及び関連工事	黒川取水放流工 大芦川取水放流工	黒川導水路 大芦川導水路	南摩注水工	送水路	南摩機場

完成
契約
付替県道
完成
契約
県道改良

完成：工事が完成した道路延長比（未供用を含む。舗装,付帯設備の未施工を含む）
 契約：工事を契約した道路延長比

5. コスト管理

(単位：百万円)

項 目	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	合 計
コスト縮減	△77	△618	△207	△216	△2	△ 6	△3	△1,129

(単位：百万円)

項 目	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	合 計
コスト増加	0	0	221	124	77	6	47	475

(単位：百万円)

項 目	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	合 計
業務執行上の結果 (低入札)	0	△580	△1,316	△91	0	△23	△56	△2,066

平成25年度コスト増減総括表

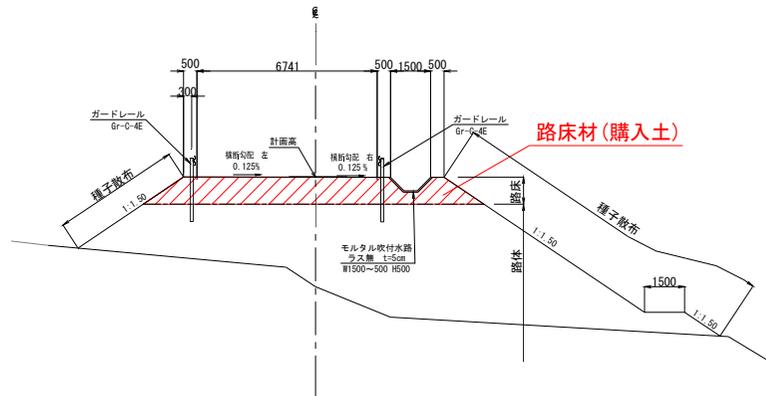
(単位：百万円)

項目	施策内容	縮減額	主な縮減内容	備考
◎コスト縮減		約3		
○計画・設計段階の見直し				
	①進入路工事における路床材の見直し	約3	路床材にトンネル掘削ずりの使用	P. 11
○施工段階の見直し				
		—		
○その他				
		—		

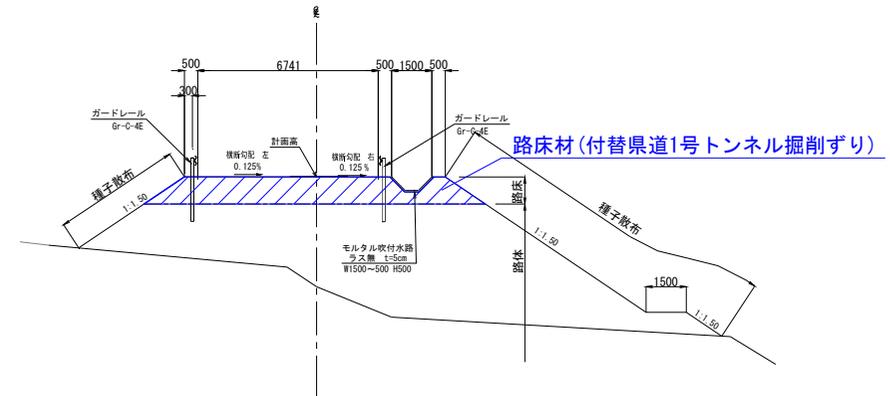
項目	施策内容	増加額	主な増加内容	備考
◎コスト増加				
	②消費税率引き上げ（5%→8%）	約47	消費税率引き上げに伴う工事費・測量設計費の増	

① 進入路工事における路床材の見直し

当初（購入土）



見直し後（1号トンネル掘削ずり）



粟沢進入路中流工区工事と粟沢進入路下流工区その2工事

【コスト縮減内容】

路床材に購入土を使用する設計だったが、付替県道1号トンネル工事で発生したトンネル掘削ずりを使用することにより、工事費を縮減することができた。

【コスト縮減の要因】

計画・設計段階の見直し

【縮減額】 約3百万円 対象費目 [用地費及補償費：補償工事費]

※縮減額は現時点での見込額であり、今後変更がありうる。

6. 平成26年度予算

・平成26年度予算については、平成25年12月24日に政府予算案が公表され、思川開発事業については19.0億円が計上されている。

・思川開発事業は検証対象であり、引き続き「新たな段階に入らない」ことを基本としつつ、早期の対応方針決定を目指すとともに、地域の意向を踏まえつつ、生活再建事業等を着実に進めるために必要な予算が計上されている。